

# 北見市公共施設白書



平成 27 年 3 月

北見市



## 目次

第1章 はじめに	1
1-1 背景	1
1-2 目的	1
1-3 白書を読む際の注意事項	1
第2章 北見市の概要	2
2-1 北見市の概況	2
2-2 人口の推移・将来予測	3
2-3 財政状況の推移と見通し	4
2-3-1 普通会計（歳入）決算額の推移と見通し	4
2-3-2 普通会計（歳出）決算額の推移と見通し	5
2-3-3 普通会計（義務的経費）決算額の推移と見通し	6
2-3-4 普通会計（投資的経費）決算額の推移と見通し	7
2-3-5 公共施設に係る普通建設事業費決算額の推移	8
2-4 他自治体との比較	9
2-4-1 人口と地勢	9
2-4-2 公共施設面積と人口	10
2-5 公共施設の保有状況	12
2-6 将来のライフサイクルコスト	15
2-7 北見市が抱える公共施設を取り巻く課題	19
第3章 施設用途ごとにみた現状と課題	20
3-1 検討対象施設	20
3-2 資料の構成	21
3-3 施設用途ごとの分析	26
3-3-1 庁舎等施設	26
3-3-2 防災施設	30
3-3-3 図書館・資料館	31
3-3-4 集会施設	39
3-3-5 体育施設・レクリエーション施設	61
3-3-6 環境衛生施設	77
3-3-7 産業振興施設	82
3-3-8 児童福祉施設	84
3-3-9 保健福祉施設	97
3-3-10 住宅施設	100
3-3-11 学校教育施設	104
3-3-12 その他施設	116
第4章 むすびに	118



## 第1章 はじめに

### 1-1 背景

北見市は、平成18年に旧北見市、端野町、常呂町、留辺蘂町の1市3町が合併したことで、全国4位となる1,428 k m<sup>2</sup>の行政面積を持つ自治体となりました。

旧市町ごとに使用していた庁舎や文化ホール等、多種多様な施設を整備してきましたが、そのなかには、目的が重複しているもの、市民ニーズの多様化や少子高齢化などの社会環境の変化によって利用率が低下しているものもあります。

また、本市が保有する施設は、昭和55年前後に整備されたものが多く、それ以前に整備されたものも含め、今後は一定期間に大規模改修や建替えが集中することが想定されます。

今後は少子高齢化が一層進むなか、時代の変化に対応した持続可能な行政サービスを提供するためには、「公共施設の『量』から『質』への転換に向けた将来のあり方」を早期に検討する必要があります。

### 1-2 目的

このような背景を踏まえ、公共施設に関わる課題を明らかにし、全庁的な視点で将来の公共施設の望ましいあり方を検討していくための出発点として、「北見市公共施設白書」を策定します。

(目的)

- ・ 公共施設の設置目的や利用実態、コストなどの現状を分かりやすく「見える化」し、広く市民に知っていただく啓発資料とすること。
- ・ 「(仮称)北見市公共施設マネジメント基本計画」を検討・策定するための基礎資料とすること。

### 1-3 白書を読む際の注意事項

- ・ 白書に掲載している数値は、表示単位未満を四捨五入して掲載しています。そのため表示数値の合計は合計値と一致しない場合があります。
- ・ 老朽化率は、各施設を構成する建物の老朽化率を、建物の延べ床面積で加重平均した値としています。
- ・ 建築年度は、各施設を構成する建物のうち、原則、最古の建築年度を掲載しています。
- ・ 北見市の公共施設の現状については、調査を実施した平成26年9月現在の値です。

